

稲刈り体験で食の大切さを伝える

多西支店は9月26日、山本典宏さん(71)の指導の下、市立屋城小学校の5年生35人の、もち米「マンゲツモチ」の稲刈り体験を手伝いました。山本さんは、2009年から食への意識・関心を持ってもらいたいと、小学校の稲作に協力し、種まき、田植え、稲刈りの指導を行っています。JAはこの活動に協力し、職員を派遣し、児童とコミュニケーションを図りながら農作業を手伝っています。

児童たちは、稲わらのつかみ方、鎌の使い方、山本さんから習い、刈り取り作業に汗を流しました。刈り取った稲は束ねて、稲架掛けにし、作業の中で取りこぼした稲穂も、一つ一つ丁寧に拾いました。



稲の刈取り方を説明する山本さん

多西支店 一瀬 星和

窓口をハロウィンに

本店は10月9日、窓口にはハロウィンの飾りつけを行いました。お化けカボチャの飾りに加え、日頃より窓口でお客様をお迎えしているJAバンクのマスコットキャラクターの「よりぞう」も衣装や帽子をかぶりハロウィンらしい装いにしました。

本店では毎年、季節に応じた飾りつけを行っており、昨年までとは異なるよう飾り方や配置等を変え、お客様に楽しんでいただけるよう工夫しています。

市川 和夫本店長は「今年もご来店されるお客様に季節を感じて楽しんでいただけたらうれし」と話しました。



ハロウィンに飾り付けた窓口

本店 所 優衣

リフォーム詐欺未然防止で感謝状

日の出支店の貯金担当の岡田喜代美職員は10月15日、リフォーム詐欺被害を未然に防止したことに対し、警視庁五日市警察署から感謝状が贈られました。

9月6日、組合員が高額な現金の払戻し手続きに来店し、窓口で対応した岡田職員が資金使途を確認し「リフォームのため」と聞き取りました。見積書を見せてもらうと、会社名の記載がなく不審に思い、警察に連絡しました。結果、リフォーム詐欺であることがわかり、詐欺被害を未然に防止することができました。



感謝状を贈られた岡田職員

日の出支店 田邊 昭太

女性部作品展開く

女性部西秋留支部は10月28日から11月1日までの5日間、西秋留会館で作品展を開きました。会場には部員が作成した手編みのバッグや洋服、紙を切り貼ったデコパージュ、飾り雛、絵画などが展示されました。

販売コーナーでは支部の手芸教室で作った手編みの円座クッション、ストールや松ぼっくりで作った小型のクリスマスツリー、ヤクルトの雪だるまなどを販売して好評でした。堀江けい子支部長は「女性部以外の方も会場に足を運んでいただき、女性部に興味を持ってもらえるとうれしい」と話しました。



来場者でにぎわう会場

本店 榎戸 大河